



▲大石清さんから指導を受ける選手たち

「100万人のこどもたちとキャッチボールを！」をテーマに全国野球振興会主催の少年野球教室が園部公園スポーツ広場で開催。元プロ野球選手の吉田義男さんらの指導を受けようと、市内で活動する少年野球チームの選手、保護者など162人が参加しました。教室では、ベースランニング、投球・打撃フォーム、捕球体勢などのアドバイスを受け、最後にケースノックで野手の連携を確認しました。また、保護者は子どものコンディショニングについての注意点を学びました。

(5/5) ダイワハウスこどもの日全国少年野球教室

「プロから学ぶ、走る・打つ・守る」

「新緑の湖畔を2,768人が快走」

日吉ダム湖畔周辺コースを走る「日吉ダムマラソン」が開催され、過去最多の2,768人が健脚を競いました。府民の森ひよしをスタート・ゴールに、ハーフマラソンと10km、3kmのコースがあり、200人を超えるボランティアスタッフが、会場設営から当日の受付、監察、給水などの大会運営を支え大会を盛り上げました。絶好のマラソン日和となった青空の下、沿道からの激励も選手を後押し。力走する選手から爽やかな汗が流れていました。



▲青空の下、それぞれのペースで力走する選手

(4/25) 第13回日吉ダムマラソン大会

「おいしいクッキーいかがですか」



▲納品したクッキーの検品をする学生と通所者

京都学園大学チャレンジショップ「京學堂」で授産施設あじさい園のクッキーが販売されています。約40人の学生が、経営の実務を身に付ける目的で店舗を運営。仕入責任者の千葉祐輔さんは「店舗が食堂内なので、手ごろなデザートにとクッキーを選んだ。月に約600個売上げているが学生以外にも販売を拡大したい」と意欲的です。開店は月・火・木・金曜日の午前11時～午後3時。あじさい園では平成13年からクッキーの製造に取り組み、菓子職人の指導も受け、高品質な商品作りに励んでいます。

(5/31) あじさい園と京都学園大学がコラボ

「異国の地で体感、伝統工芸の技と美」

京都伝統工芸大学のイタリア人留学生が工芸職人の工房を視察。最初に訪れた古谷禎朗さんの家具工房「木魂」では、作品を鑑賞後、工具についての説明を受けました。古谷さんオリジナルの鉋かんを使っての実演では、学生は興味津々に手元の動きをカメラに収めていました。三船工房では、三船國彦さんの指導の下、バターナイフづくりに挑戦。手作りの素敵な土産を完成させ、かやぶきの里でスケッチを楽しんだ後、たくさんの思い出を胸に帰路につきました。



▲鉋を手に取り説明を受ける学生と教員

(5/6) イタリア人留学生市内職人工房等視察・体験研修